

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ● 京丹波

京丹波

No.38

2008年
12月15日発行

ゴールを目指して心をひとつに



つないだバンドで心をひとつに

10人11脚大会

～以心伝心・心をつなぐテレパシー～

「10人11脚大会」(社団法人船井青年会議所主催)が11月3日、ロードレース終了後の丹波自然運動公園陸上競技場で開催され、本町と南丹市から計26チームが参加。大会では、参加した小学生らによる熱戦が繰り広げられました。



①10人11脚に出場する「コンターズ高原」②10人11脚に出場する「明俊ホッケースポーツ少年団」③5人6脚に出場する「和知小学校」④10人11脚に出場する「下山小学校」⑤観客席には競技を見守る多くの人の姿が



今月の表紙

500人以上が参加した「10人11脚大会」。チームメイトと気持ちをひとつにして走る子どもたちの姿は、見守る人びとに感動を与え、会場全体を笑顔で包み込みました。

京丹波 No.38 CONTENTS

- 2 つないだバンドで心をひとつに
「10人11脚大会」
- 4 生産者から消費者へ新鮮な野菜を直接お届けする
「ふるさと野菜おすそ分け宅配便」
- 6 [シリーズ]まちづくりスクエア
—「住民自治組織によるまちづくり」に向けて
- 8 平成21年2月1日(日)は
京丹波町農業委員会委員一般選挙の
投票日です
- 10 Dr's Message いぎいき健康術
- 11 **フラッシュ TOWN NEWS 2008**
警察との連携強化で町営住宅の安全確保を
—暴力団員による町営住宅等の使用制限に関する
協定調印式
貸し農園を通じて深まる都市と農村の交流
—和知ふるさと農園で収穫祭と閉園式
おもしろい競技が満載の地域交流イベント
—第1回検山ギネス
鳥獣保護と増殖を目指した取り組み
—京丹波町猟友会がキジを放鳥
地域文化に触れる機会を
—平成20年度京丹波町文化祭
秋色に色づく丹波路を1600人のランナーが力走
—「2008京都丹波ロードレース」
交流と親睦を深めて地域力の向上を
—平成20年度和知地区親善バレーボール大会
多彩な催しで秋のひとときを満喫
—わちふれあい祭り2008

万全の態勢に備えて 事前に「体験会」を実施

十八十二脚大会は、地域の未来を担う子どもたちが思いやりの心の大切さを知ること、豊かな心を育むことを目的に、本町と南丹市在住の小学二～六年生を対象として、今回初めて実施。七月二十日には、六十二人の子どもたちと、小学校教師・スポーツ少年団指導者・保護者ら三十七人が参加する中、大会に備えた体験会を蒲生野中学校体育館で実施し、念入りな事前調整が行われました。

体験会では、最初は息が合わずに転倒する場面も見られましたが、練習を重ねることに上達し、終了するころには大会での好記録が期待できる走りが見られました。

すべてのチームが ゴールを目指して力走

初めに行われた競技は、十人十一脚の一走目。バンドで足をつなぎ、気持ちを一つにして一生懸命走る子どもたちの姿に、見守る観客からは「がんばって」などの温かい声援が送られました。参加する十チームすべてが走り終え、中間結果が発表されると、フレンズが出した六秒五九の記録が二位以下を大きく引き離す結果となりました。

また、二チームが並走して勝敗を競う五人六脚では、隣のコースを気にしながら走る姿が印象的で、気の焦りからゴール目前で転倒する場面も見られました。

最終競技である十人十一脚の二走目では、前回の反省点を踏まえて次々と好記録が出されましたが、フレンズが一走目に出した記録には及びませんでした。

なお、大会結果は次のとおりです。

- 二十人十二脚**
優勝 フレンズ
(京丹波町・スポ少バレーボール)
- 五人六脚**
優勝 ペリーペリーパラダイス
(南丹市・胡麻郷小)
- 準優勝** ハッピーチェリー
(南丹市・吉富小)

競技種目は「十人十二脚」と 「五人六脚」の二種目

大会に多くの子どもたちが参加できるように、四十八人が参加する「五人六脚」と、九人以上で参加する「十人十二脚」の二種目を実施。直線三十メートルのタイムなどにより、種目ごとに優勝・準優勝を競いました。

十人十一脚の競技方法は、各チームが二回走り、どちらが早かったタイムをチーム記録として順位を決定。また、五人六脚は、二チームが並走して走り、早かったチームが勝ちあがっていくトーナメント方式で行われました。

なお、参加チームは、十人十二脚が十チーム、五人六脚が十六チームの計二十六チーム(延べ百九十三人)でした。

十人十二脚大会は、見た目の派手さではなく、関わるすべての人たちに「思いやり」の大切さを伝えることを目的に実施しました。

大会を通じて、子どもたちには、練習を重ねる中で芽生える「絆」と、強くなって初めてわかる「人へのやさしさ」を、また、見守る大人には、子どもたちへの協力や自分自身が積極的に関わることの大切さに気付いていただけたのではないかと思います。

今大会では、参加者のみなさんから来年の開催を望む声をたくさんいただきました。来年も大会は続けていく予定ですので、より多くのおみなさんの参加をお待ちしています。



社団法人船井青年会議所
豊かな心創造委員会委員長
溝口久也さん(豊田)

ふるさと野菜 おすそ分け 宅配便

生産者から消費者へ 新鮮な野菜を直接お届けする

地元で採れた新鮮な野菜などを、都市住民に直接お届けする「ふるさと野菜おすそ分け宅配便」。農村集落と都市をつなぐ新たな取り組みが、本町を中心として府内に広がっています。

「この時期は白菜や大根などかさばる野菜が多いので、箱詰めには手間取ります」と話しながら、丁寧に箱詰めをされる西河内区の生産者

各地区の世話人の方に Interview



箱詰め前に収穫した野菜を確認する西河内区の生産者のみなさん



「安心・安全な農産物を届けるために、なるべく農薬を使わないように心がけています」と話しながら、箱詰めした野菜を集荷場に持参する長瀬区の生産者のみなさん

世話人
藤田 正之さん(西河内)



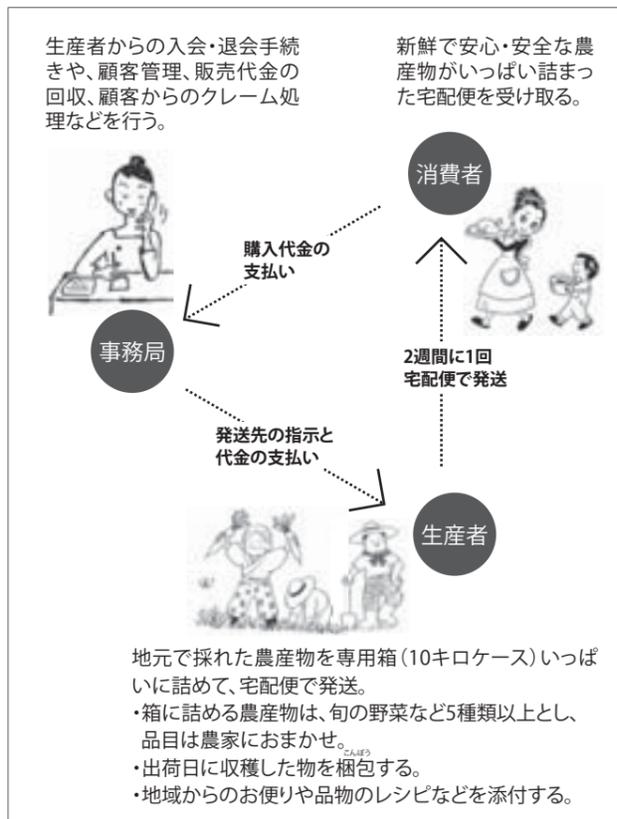
この事業では、販売方法がなく処理していた農産物などを現金収入に変えることができるので、地域農業の活性化につながると思います。今後は事業が定着し、町内に活動が広がるように期待しています。

世話人
山口 侑夫さん(長瀬)



この事業がきっかけで、生産地域である長瀬区のことに興味を持っていただき、地域の良さを知ってもらいたい。そして、生産者と消費者が交流を深めることで、地域活性化につながればと思います。

宅配便のイメージ(表1)



京都府が実施主体となるこの事業は、農村部で農業を営む高齢者が手塩にかけて育てた安心・安全な農産物を、民間企業の販売ルートを活用して、都市の消費者に宅配便で定期的に送ることで、農村部の農業所得確保と地域活性化を図ることを目的に実施されています。

この事業は、高齢化が進む地域の新たな農業経営のあり方として期待が寄せられており、本町や南丹市などで取り組みが展開されています。

「ふるさと野菜おすそ分け 宅配便」とは

消費者と生産者をつなぐ 「事務局」の役割

事業を行うには、地域内の生産者を取りまとめる「世話人」を決める必要があります。地域の代表である世話人は、取り組み人数や集荷場などを調整し、生産者と消費者の中継役となる「事務局」に申し込みをします。

顧客管理を行う事務局は、申し込みに応じて集荷場や出荷数などを調整し、宅配開始の事前準備を行います。

また、宅配開始後の代金回収や苦情処理なども事務局で対応されるため、生産者は農産物の栽培に専念することができます。(生産者や消費者、事務局の役割は「表1」のとおり)

配送物は生産者におまかせ

この事業の特徴は、旬の五種類以上の農産物を専用箱に詰めると決められているだけで、それ以外は生産者に任されていることです。

通常、生産者は消費者の注文に応じて野菜などを出荷しますが、本事業では自宅の畑で採れた野菜などをそのまま箱詰めすることができるので、「収穫した分から少しおすそ分けを」との気持ちで取り組むことができます。

新鮮な農産物を 自然なままの状態でお届け

農産物は、なるべく新鮮な状態で届けるために出荷日当日に収穫し、自然なままの状態を味わってもらえるように、あまり手を加えず、できるだけ土付き、葉付きの状態でお届けをします。

府内で初めて 西河内区が取り組みを開始

西河内区は、区内で有志を募って、今年六月に府内で初めて取り組みを開始。その翌月の七月には、長瀬区も取り組みを開始し、現在では西河内区(十人)と長瀬区(九人)の計十九人の有志が、それぞれの地域で事業を実施されています。

宅配便の発送日は、両地域ともに毎月第一・三水曜日、発送数は現在、西河内区が十八箱、長瀬区が二十箱となっています。

おすそ分け企画の利用者が生産地域を訪れる「ただいま交流会」を実施

生産者と利用者が交流する「ただいま交流会」が十一月九日、長瀬公民館を中心に行われ、おすそ分け企画に関わる生産者や利用者ら約六十人が参加しました。

この交流会は、ふるさと野菜のおすそ分け宅配便に関わる生産者と利用者顔を合わせて交流する場を持つことや、新規利用者への事業説明を行うことを目的に、今回初めて実施。利用者がふるさとに里帰りする感覚で生産地域を訪れることができるように、秋の収穫期のこの時期に交流会を計画されました。

交流会では、出荷する農産物を育てているアグリパークわちを見学した後、同公民館に移動して、地元で採れた新鮮な野菜や利用者らが持参した食材を使った料理を囲むのでの会食を実施。初めて生産地域を訪れた利用者らは、地域住民との交流を深めながら、地元野菜を使った料理に舌鼓を打っていました。

また、利用者らはこの日、西河内区へも訪問し、生産農家との顔合わせや交流を行いました。



アグリパークわちを見学する参加者

みよし・ひさお 平成18年、会長に就任。ふるさと・質美への情熱と行動力で地域振興に力を注ぐ。



人あつての「自分」。
みんなで地域全体のことを
考えることが大切です。

三好久男さん

Interview

大西好美さん

おおにし・よしみ 文化環境委員会の委員長として活躍。廃食用油回収などエコ活動を引っ張っている。



地域に女性の
活躍の場があるのは
大きいですね。



- ①質美八幡宮曳き山行事
- ②子どもたちに郷土の食文化を伝える「食育運動」。くろみの会、公民館との共同事業です。(質美振興センター)
- ③多世代が集いクリーン作戦。環境美化とともに住民の交流が図られています。(質美上野)
- ④地域全体で取り組んでいる廃食用油回収活動。回収した油は業者に引き取られ、バイオディーゼル燃料に精製されます。(質美振興センター前、質美和田)

協 議会をさらに地域に根ざした組織にしたい。今後の運営体制のあり方などを協議する検討委員会を立ち上げるべく、現在準備を進めています。これからの地域を守っていくのは、地域に住むわたしたちにほかなりません。だから、わたしたち地域住民は「地域全体のことを考えていく」必要があります。今回の検討委員会が、そうした意識改革のチャンスになればと思います。

Hisao Miyoshi

美しい質美の里を次代へ
しっかりと引き継ぐために。

美 美しい質美の里を次代に引き継いでいくために、今、自分たちができることをやっていると廃食用油回収などのエコ活動が始まりました。男性社会の地域で、女性がこまめやっていたのかという戸惑いもありましたが、女性が協議会に入ってから活動の提案や男性と共に地域について話し合うことができる、そういう環境があるからこそ実現できたのだと思います。

Yoshimi Oonishi

質美地域振興協議会

真の自治組織へ、新たな道

シリーズ「まちづくりスクエア」では、地方分権が進む中、全国的に注目を集めている「住民自治組織によるまちづくり」について考えます。今回から、5回にわたって町内既存の住民自治組織の活動を紹介します。初回は、瑞穂地区の質美地域振興協議会。幅広い分野の取り組みと女性の活発な活動が特徴です。

Series **3**

地域に活力を与える
女性のチカラ

質美小学校区内の七つの区で構成している質美地域振興協議会。組織内に三つの専門委員会を置き、環境対策(エコ活動)や地域の伝統行事「質美八幡宮曳き山行事」の保存、小学校などと連携した食育運動やあいさつ運動など幅広い活動を展開しています。

また、女性の活躍が活発なものも同協議会の特徴。とくに家庭から出る廃食用油の回収活動や、買い物時にエコバッグ(買い物袋)を持参する「ノーレジ袋運動」などのエコ活動には、積極的に取り組む女性たちの姿があります。水嶋真弓さん(写真④)は、文化環境委員として廃食用油回収活動を引っ張っているひとり。「地道な活動ですが、こうした生活に身近な取り組みは女性ならではの活動ではないでしょうか」と話します。

男性が中心になりがちな地域活動。そこに女性ならではの生活者視点や発想が加わることでエコ活動のほか、郷土料理を子どもたちに伝える食育運動などの新しい活動が芽生え、地域に活力を与えています。

地域をみんなで助け合いながら守っていくことが大切です。そのためには、女性や若い人など、幅広い人材、世代がかかわれる仕組みをつくっていく必要があります」と話します。

質美八幡宮では今年の大晦日、廃食用油で作ったロウソクを使ったイルミネーションイベントが行われる予定です。これは地域の若者たちが地域を盛り上げようと企画し、準備を進めている事業です。地域に新しい光がともされようとしている今、質美地域振興協議会もまた、真の住民自治組織づくりへ向けて、新たな舵をきろうとしています。

DATA 質美地域振興協議会

- 【設立年】昭和63年
- 【構成区】行仏・中村・庄ノ路・和田・上野・下村・北久保
- 【人口・世帯数】586人・213世帯(平成20.4.1現在)
- 【運営体制(組織の運営者)】
各区长、質美財産区管理会(会長・職務代理者・事務取扱)、地域出身の町議会議員、質美公民館(館長・主事)、質美地域農場づくり協議会(会長)、質美地域農村活性化委員会(委員長)、会長が委嘱した人(16人)
- 【専門委員会】
文化環境委員会、産業活性化委員会、地域活性化委員会
- 【会員】質美地域在住のすべての住民



- 【主な活動】
 - 集落要望の集約、関係機関への請願・陳情
 - 環境対策、農業活性化対策
 - 質美八幡宮曳き山行事の保存
 - 食育運動・あいさつ運動
- 【その他】
 - 1世帯500円/月の会費
 - 京都府生活学校・生活会議に加入している。

平成21年2月1日(日)は 京丹波町農業委員会委員一般選挙の 投票日です

京丹波町農業委員会委員は平成21年2月10日で任期満了となるため、次のとおり「京丹波町農業委員会委員一般選挙」が行われます。

告 示 日	平成21年1月27日(火)
投 票 日 時	平成21年2月1日(日) 午前7時から午後6時まで
選 挙 区 と 委 員 定 数	第1選挙区(丹波地区) 10人 第2選挙区(瑞穂地区) 8人 第3選挙区(和知地区) 6人
投 票 で き る 方	平成20年3月31日に確定した京丹波町農業委員会委員選挙人名簿に登録され、次の要件を満たしている方。 ・昭和63年4月1日以前に生まれた方 ・投票日に京丹波町に住所を有する方 ・10アール以上の農地の耕作を営む方か、同居の親族またはその配偶者で年間おおむね60日以上耕作に従事している方
投 票 す る に は	投票所の入場券は、投票できる方に対して告示日の翌日(1月28日)に郵送します。ただし、立候補者数が委員定数を超えなかった場合、その選挙区は無投票となりますので入場券は送付しません。 入場券が送付された方は、投票日当日に入場券を持参して、入場券に記載されている投票所で投票してください。

投票日に予定がある方は「期日前投票」をしてください

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭などの理由で投票できない人は、選挙期日前であっても投票を行うことができます。

期間：1月28日(水)から1月31日(土)まで
時間：午前8時30分から午後8時まで
場所：選挙区ごとの投票場所は次のとおりです。(他の選挙区では投票することができません)

第1選挙区(丹波地区) 京丹波町役場
第2選挙区(瑞穂地区) 京丹波町瑞穂支所
第3選挙区(和知地区) 京丹波町和知支所

* 町外の滞在先や指定の病院、老人ホームなどでの不在者投票についても同じ期間で行えます。別途手続きが必要となりますので、詳しくは選挙管理委員会までお問い合わせください。

立候補を予定されている方へ 立候補(予定)者を対象とした説明会などを次のとおり行います。

立候補予定者説明会	日時：1月14日(水) 午後1時30分から 場所：京丹波町役場2階議場 *説明会には、立候補予定者1人につき1人の出席をお願いします。
立候補届出事前審査	日時：1月21日(水) 午後1時から5時まで 場所：京丹波町役場2階議場
立候補届出日(告示日)	日時：1月27日(火) 午前8時30分から午後5時まで 場所：京丹波町役場2階議場

投票区は次のとおりです

農業委員会委員選挙の投票区は、町全体の均衡や公平性の確保、昨年度に再編した国政選挙などの投票区との整合性を図ることを目的に再編を行いました。

再編の基準は原則として旧小学校区単位とし、14投票区(丹波地区4、瑞穂地区4、和知地区6)から11投票区(丹波地区と瑞穂地区は変更なし、和知地区3)となりました。

投票区再編により一部の区域の方の投票所が変更になっていますので、入場券が届いたら記載されている投票所をご確認ください。

[農業委員会委員一般選挙投票区など一覧]

選挙区	投票区	投票所	区 域
第1選挙区(丹波地区)	第1投票区	竹野地区基幹集落センター	笹尾、中畑、辻村、中村、下村、鎌倉、西階、水戸、新水戸
	第2投票区	京丹波町健康管理センター	須知、市森、上野、蒲生、蒲生野、曾根、院内、幸野、森、塩田谷、安井
	第3投票区	富田公民館	富田、豊田、上豊田、実勢
	第4投票区	下山小学校体育館	下山、グリーンハイツ
第2選挙区(瑞穂地区)	第5投票区	山村開発センター	中台、橋爪、和田、井脇、大朴、井尻、八田、小野、長谷
	第6投票区	梅田振興センター	坂井、水原、上大久保、下大久保、鎌谷下、鎌谷中、鎌谷奥、東又
	第7投票区	三ノ宮基幹集落センター	保井谷、栗野、妙楽寺、水呑、三ノ宮、質志、戸津川、猪鼻
	第8投票区	質美振興センター	行仏、中村、庄ノ路、質美和田、質美上野、下村、北久保
第3選挙区(和知地区)	第9投票区	京丹波町和知共同作業所	(中山、升谷、市場、大倉)、 (篠原、大迫、長瀬、塩谷、上乙見、下乙見)
	第10投票区	京丹波町下栗野体育館	西河内、下栗野、細谷、上栗野、仏主
	第11投票区	京丹波町和知支所	(本庄、小畑)、(坂原、中、角、広瀬、安栖里)、 (才原、大簾、広野、出野、稲次)

* ()内が旧投票区の区域となります。

問い合わせ先 京丹波町選挙管理委員会 ☎82-3800

いきいき健康術 第16回

Dr's Message

上手なブラッシングで 歯磨きの達人に

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は和知歯科診療所の坂下敦宏先生。上手な歯磨きの方法についてのお話です。

歯の健康は「歯磨き」から

歯磨きの目的は、歯垢を取り除くことと歯グキをよくマッサージュすることです。上手なブラッシング方法を実践して、むし歯や歯周病とは無縁の生活を送りましょう。

歯磨き剤の正しい使い方

歯磨き剤はむし歯や歯周病に対してある程度の効果はありますが、それだけで歯がきれいになると過信してはいけません。また、研磨剤の入ったものは歯のエナメル質を傷めやすいことや、ほとんどの歯磨き剤で感じられる清涼感で、なんとなく磨けたような気分になってしまうことにも注意しなければなりません。歯磨き剤を使う際には、歯ブラシの上のせいぜい三分の一程度に乗せ、じつくりと磨くようにしましょう。

歯間の汚れは、口腔ケア用品を使って

歯ブラシだけでは、どんなに丁寧に磨いても歯と歯の間の汚れまでは取れません。そこで、歯ブラシ以外の口腔ケア用品の使用をお勧めします。

デンタルフロス・デンタルフロスピック

歯と歯の間に糸を通してたまった歯垢を取り除く道具で、糸だけのものと柄のついたものがあります。

歯間ブラシ

柄の先の細い針金の先端部が小さなブラシになっています。いろいろなサイズがあるので、自分の歯の隙間に合わせて選ぶようにしましょう。



坂下敦宏先生 (和知歯科診療所)

- 【ブラッシングを上手にする】
- ① 磨きにくいところから磨く。
 - ② 表と裏、奥歯のかみ合わせる面のすべてを磨く。
 - ③ 歯グキまでマッサージュするように磨く。
 - ④ 力を入れすぎない。
 - ⑤ 歯ブラシは細かく動かす。
 - ⑥ 歯ブラシは少し小さめのものにする。
 - ⑦ 歯ブラシの毛が広がっていないものを使う。

警察との連携強化で町営住宅の安全確保を

暴力団員による町営住宅等の使用制限に関する協定調印式



協定書に調印後、握手を交わす松原町長と吉岡署長(南丹警察署・南丹市園部町)

町営住宅などから暴力団員を排除し、入居者や周辺住民の生活の安全と平穏を確保するための協定調印式が十一月十八日、京都府南丹警察署講堂で行

われ、協定を結ぶ松原町長や吉岡克敏署長ら九人が出席しました。

この協定は、昨年四月に東京都町田市の都営住宅で発生した暴力団員によるけん銃発砲立てこもり事件を受けて、本町と南丹警察署が町営住宅などの入居者の情報提供などを行い、緊密に連携した対策を行うことを目的に締結。協定締結により、町は入居者が暴力団員かどうかを同署に照会し、それを受けて同署は調査や必要に応じた支援を行うことができます。

なお、この取り組みは全国的に広がっており、近隣の南丹市や亀岡市でも同様の協定を締結されています。

貸し農園を通じて深まる都市と農村の交流

和知ふるさと農園で収穫祭と閉園式

和知ふるさと農園の収穫祭と閉園式が十一月十六日、上粟野区内の貸し農園で行われ、利用者ら約三千人が参加しました。

同農園は、都市と農村の交流を目的に、上粟野区内で組織する同農園実行委員会が主催して平成三年から毎年実施。今年も京都市などから八組が参加して、野菜などの栽培を行いました。

小雨が降る中、利用者らは、農園で大きく育った大根や白菜、かぶらなどを次々と収穫し、大きさや形の良い物を各組一品選んで品評会に出品。品評会では、同農園実行委員四人が審査委員となっ



大きく育った野菜などを収穫する農園利用者(上粟野区内の貸し農園)

おもしろい競技が満載の地域交流イベント

第一回松山ギネス

第一回松山ギネス(松山公民館・松山わいわいクラブ主催)が十一月十五日、松山小学校グラウンドで行われ、松山地域の住民ら約五十人が参加しました。

この大会は、松山地域内にある団体の交流や地域住民の親睦と体力保持を目的に企画されたもので、松山地区おもしろ記録大会として、今回初めて実施。大会では、定番の「輪投げ」や「ざる引き」に加えて、「ブランコくつ飛ばし」「ゴザ投げ」「リム転がし」といったユニークな競技も行われ、それぞれの種目で年代・男女



輪投げを楽しむ参加者(松山小学校・松山)

鳥獣保護と増殖を 目指した取り組み

京丹波町猟友会がキジを放鳥

京丹波町猟友会が十一月十一日、町内各地区でキジの放鳥を行いました。

この取り組みは、京都府猟友会が鳥獣保護と増殖を目的に、府内市区町村の猟友会を通じて毎年実施。今年も十市



キジを放つ園児たち(わちエンジェル・大倉)

区町村で四百羽の放鳥を計画し、本町猟友会では支部ごとに分かれて計四十羽のキジを空に放ちました。キジとの触れ合いや生態を学ぶ機会を提供するために、本町猟友会和知支部では、園児らの手で放鳥することを企画。園児らは、同支部会員から雄雌の違いなどの説明を受けた後、放鳥に先立って手渡されたキジと触れ合い、そして「キジさんがんぼつて」と声をかけながら飛び立つ姿を見送りました。

わたしたちの町

人口	17,208(-22)
男	8,146(-14)
女	9,062(-8)
世帯数	6,493(-3)
12月1日現在 / ()は前月比	

地域文化に触れる 機会を

平成二十年度京丹波町文化祭

秋の恒例行事である「京丹波町文化祭」(京丹波町文化協会主催)が、今年も盛大に開催されました。

展示の部は、町中央公民館で十一月八日―十日の三日間にわたって行われ、四百三人の方が来場。会場には、絵画や写真、書道掛軸、手芸品など、四百点の作品が展示され、訪れたみなさんを楽しませました。

また、十一月九日に山村開発センターみずほで行われたステージの部では、和知人形浄瑠璃や小畑万歳大

正琴、舞踊、詩吟、ピアノ演奏などが披露され、来場者(六百十二人)に地域文化の素晴らしさを伝えていました。



構成吟舞を披露する「神心流 吟と舞教室」のみなさん(山村開発センターみずほ・大村)

秋色に色づく丹波路を 千六百人のランナーが力走

「二〇〇八京都丹波ロードレース」

「二〇〇八京都丹波ロードレース」(船井郡陸上競技協会、京都府立丹波自然運動公園主催)が十一月三日、丹波自然運動公園を発着点として行われ、町内外から約千六百人のランナーが参加しました。

開始式で同協会会長の柿田勇市さんは、二年前から本協会と丹波自然運動公園が共催し、行政の手を借りない手作りの大会として新たな歴史を刻んできた。今回参加される千六百人のみなさんのご健闘をお祈りするとともに、来年はみなさんの要望にお応えできるように、ホームページを検討し、ますます充実した大会にしたい」とあいさつ。その後、三・五・十キロメートルの三種目に分かれて各出

発地点から順にスタートし、秋色に染まった丹波路の景色を眺めながら、男女別や年代別の順位を競いました。また、同公園内では「丹波ふるさと特産展うまいもの市」が開催され、多くの来園者でにぎわいました。



軽快な走りスタートするランナー(丹波自然運動公園・曾根)

交流と親睦を深めて地域力の向上を

平成二十年度和知地区親善バレーボール大会

平成二十年度和知地区親善バレーボール大会(同実行委員会主催)が十月二十六日、同地区内にある体育館四箇所で行われ、各集落などで構成された二十三チーム(約三百五十人)が参加しました。

この大会は、和知地区で昭和三十八年から行われてきた伝統ある地域スポーツ「バレーボール」を継続することで、住民の親善・親睦を深め、地域力の向上を図ることを目的に、毎年実施。今年も各会場では、久しぶりに出

会う人たちとの談笑や思い出話が飛び交う中、和気あいあいとした雰囲気の中で試合が行われました。



熱戦を繰り広げる参加者(和知小学校・本庄)

多彩な催しで 秋のひとときを満喫

わちふれあい祭り二〇〇八

わちふれあい祭り二〇〇八(同実行委員会主催)が十一月二十二日、道の駅「和」と道路情報センター一帯で行われ、町内外から多くの人が参加しました。



多くの人でにぎわう祭り会場(道の駅「和」・坂原)

会場では、各種団体が出店する「うまいもんコーナー」や「みんなの参加」

販売コーナー、地元農産物を販売する「ふれあい朝市」などが催され、訪れた家族連れなどにぎわいました。

また、道路情報センター内では、伝統芸能の定期公演などが行われ、来場された多くの方が和知地区に伝わる伝統文化を楽しみました。

編集 後記

年末も押し迫る中、みなさんはいかがお過ごしでしょうか。この時期になって1年間を振り返ってみると、編集子としての平成二十年は、取材を通じて多くの人と出会い、そしてインタビューや会話の中からたくさんの方の話を学ばせていただいた年であったと思います。これから迎える平成二十一年も、一つひとつの出会いを大切に、取材を通じて感じたことや学んだことを、みなさんにお伝えできるような広報紙づくりに務めたいと思います。(K)